

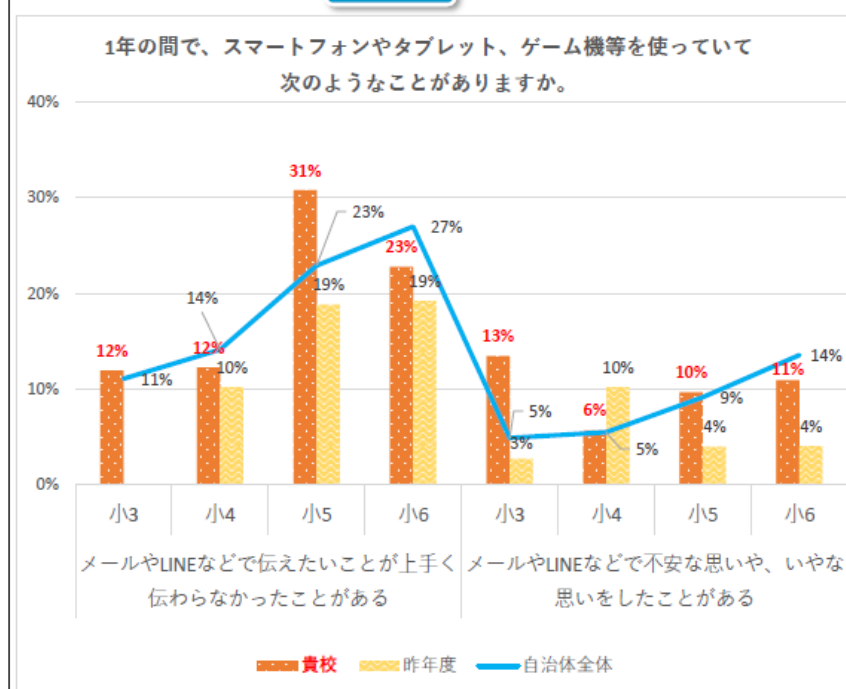
# 【情報モラル実態調査 栗原小学校診断レポート】

## ■実態調査(令和7年度)実施状況 <座間市立栗原小学校>

実施時期	実施人数						
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	保護者
令和7年7月	44人	23人	67人	106人	104人	101人	294人

## ■3つの特徴

### その1！



メールやLINEで「伝えたいことが上手く伝わらなかった」経験のある児童は、小5が昨年度より12pt高く、自治体全体と比べても高い。小3は昨年度と比べて、「不安な思いや、いやな思いをしたことがある」と回答した割合が10pt高い。

## ■実態調査からみえる全体の傾向

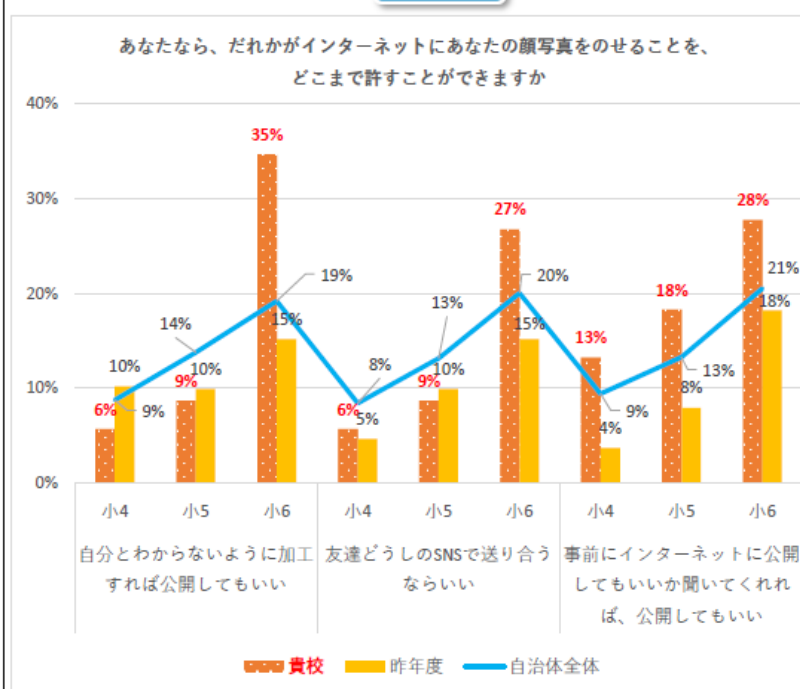
座間市全体の特徴は下記の3点である。

①中学生の学校でのタブレットは活用は全学年で「ほぼ毎日」が約8割を占め、特に中学3年生では87%に達している。学年が上がるほど利用頻度が高くなる傾向が見られる。

②小4～中1のスマートフォンの自分専用機器所有率は昨年度比で10pt以上増加し、低年齢層への普及が進んでいる様子が伺える。

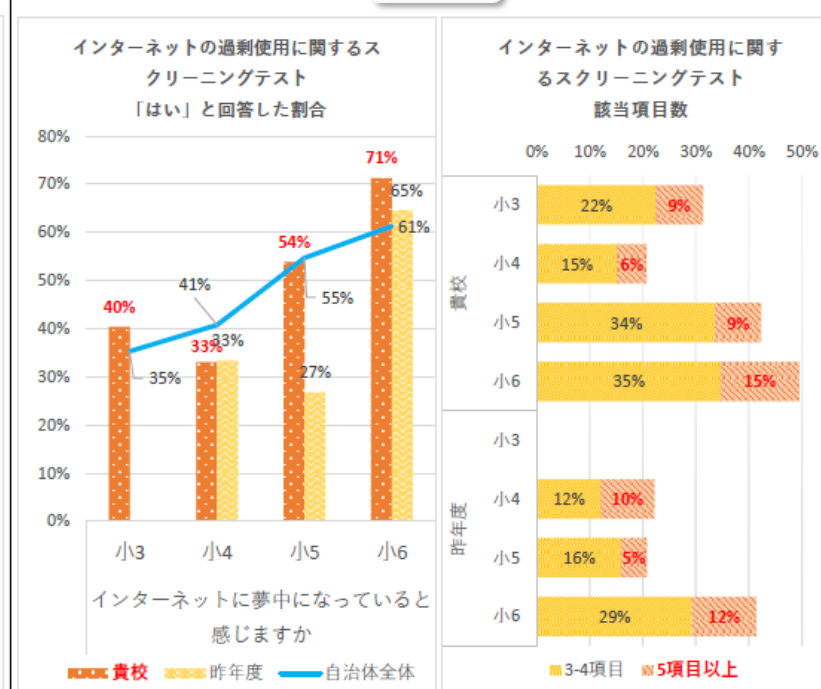
③インターネット上への写真や動画の投稿において、「ある」と回答した割合は昨年度に引き続き増加傾向にあり、小6～中3では約10pt増、中3では52%と全自治体平均を上回っている。

### その2！



小6は、自分の顔写真について「自分とわからないように加工すれば公開してもいい」という認識の割合が昨年度より20pt高く、自治体全体と比べても16pt高い。また、「事前に確認すれば公開してもいい」と回答した小4・小5・小6は昨年度よりほぼ10pt高い。

### その3！



小5の5割以上、小6の7割以上は「インターネットに夢中になっている」と感じている。特に小5は昨年度より27pt高く、インターネットの過剰使用に関するスクリーニングテストにおいても、該当項目数が3個以上の割合が昨年度よりも増加している。

※全自治体調査とは、今年度(株)教育ネットが実態調査を行った全児童生徒(16461人)の結果になります。(令和7年度7月時点)